


分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 66
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	各種団体・ サークル等活動支援事業		会計	款	項	244,944	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
地域の文化力向上のためには、市民の自主的な学習と団体の活動が不可欠です。活発化された活動が地域に還元されることにより、地域全体の文化振興とコミュニティ活動の促進につながるため、社会教育施設としての中央公民館を拠点として活動するサークルや団体の活動を推進します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	公民館登録サークルの市民参加人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,437 (平成26年度)	目標	3,480	3,510	3,880	3,910	3,940
		実績	3,818	4,056	4,140		
	指標	公民館(社会教育ホール)利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	79,916 (平成26年度)	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	67,825	73,712	77,865		
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館サークル連絡協議会(略称:公サ連)の会員が中心となり、公サ連まつりの実施や市民ギャラリーの作品展示、ガラシヤまつりのオープンハウスを利用したサークル加入のための啓発活動を実施しました。 ・その他、会員交流会、ガーデニング教室、会員親睦会など、サークル活動の啓発、発展のための活動を支援しました。 					公サ連まつり	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		主な社会教育施設の利用者数	年間約40万人(社会教育ホールなど市5施設の計)で推移しています。	202
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の公民館登録サークルの市民参加人数は4,140人(サークル会員の市内構成員数)となり、平成29年度と比べると84人増となりました。公民館登録サークル190団体のうち、公サ連へ加入している団体は33団体、490人であり、平成29年度と比べると2団体、12人減となりました。公民館利用者数については、空調工事を実施していた平成29年度と比較し4,153人増えたものの目標値を下回る結果となりました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体や登録人数に対して、公サ連への加入割合が低く、公サ連の会員が減少していることが課題です。公サ連への新規加入は平成29年度に1団体あったものの、平成30年度は0件となりました。公サ連未加入サークルに対して加入を促す必要があります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1:計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・会員との意見交換等により公サ連に対する支援を強化します。また、公サ連でのイベントを写真を多く活用し、視覚的にも注目されるチラシ・ホームページを作成して周知します。市民企画講座等を中心にサークルとして設立できるよう支援し、公サ連に加入してもらうための働きかけも行います。 </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・会員との意見交換等により公サ連に対する支援を強化します。また、公サ連でのイベントを写真を多く活用し、視覚的にも注目されるチラシ・ホームページを作成して周知します。市民企画講座等を中心にサークルとして設立できるよう支援し、公サ連に加入してもらうための働きかけも行います。
方向性	対応策等				
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・会員との意見交換等により公サ連に対する支援を強化します。また、公サ連でのイベントを写真を多く活用し、視覚的にも注目されるチラシ・ホームページを作成して周知します。市民企画講座等を中心にサークルとして設立できるよう支援し、公サ連に加入してもらうための働きかけも行います。 				

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 67
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	公民館定期講座開設事業		会計	款	項	1,158,877	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
地域の文化振興と生活向上のためには、生涯学習環境の充実が必要です。市民の自主的・主体的な学習意欲の喚起を図るために、市民の多様な学習ニーズに対応し、ライフステージや現代的課題に即した学習機会や学習情報の提供、相談体制を充実します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	公民館講座の参加率(参加予定者数÷定員数)				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	90.4	90.8	93.5	93.7	93.9
	89.8(平成26年度)	実績	93.1	93.3	91.7		
<p>・各世代のニーズや課題に応じた各種講座として、青少年教育(少年少女発明クラブ12回)、男女共同参画(男女共同参画講座1回、多文化共生子育て講座1回)、高齢者教育(熟年生き生き講座12回)、家庭教育(びよびよクラブ10回、びよびよクラブイベント講座1回、子育てふれあいルーム80回)、現代的課題講座(日本語教室7回)、福祉教育(聴覚言語障がい者学級1回)、環境教育(子どもエコ教室1回)を実施しました。</p> <p>・昨年度に試行的にした市民企画講座を本格的に実施しました。総合計画から抽出したテーマに沿って、市民自らが講師となり23企画85講座に達しました。(なお、市民企画講座は前年度から実施している講座のため上記参加率には含めていません。)</p>				市民企画講座			
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—		—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・講座終了後に参加者へのアンケート調査を実施し、講座の効果等を測定しています。アンケートの集約結果を講師に速やかに返すことにより、各回の講座に反映させています。アンケート結果では、参加者の満足度は80%~100%となっており、市民の学習ニーズを的確にとらえた講座を実施することができ、高い参加率を維持しています。</p>	
課題等	<p>・市民企画講座の実施時期が偏りがあることが課題です。</p> <p>・市民企画講座の実施数の大幅な増加に伴い、これまで実施してきた講座の見直しも必要となっています。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・市民企画講座において類似テーマの日程が同時期に開催されることがあるため、時期を分散させる等工夫して多くの市民が参加できるよう調整していきます。</p> <p>・これまで実施してきた講座については、講座内容を精査し、市民が有する知識やスキルを還元する場にも貢献している市民企画講座への振替を検討します。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 68
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	中央生涯学習センター 管理運営事業		会計	款	項	目	68,801,400	生涯学習課
			一般	10	1	5		
事業の概要								
市民の自主的・自発的な生涯学習活動の場として、中央生涯学習センターを管理運営します。								


平成30年度の取組								
D (取組)	指標	中央生涯学習センター貸室利用率					単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
		目標	48.0	48.5	50.0	50.0	50.0	
	47.8(平成26年度)	実績	51.9	50.5	51.7			
<ul style="list-style-type: none"> 中央生涯学習センターの管理運営は、指定管理者である大阪ビジネススクリエイト株式会社に委任しています。 指定管理者の自主事業として、はじめの一步体験、展示ウィーク、ふらっとコンサート、夏休み・冬休み親子企画、子育て応援講座、文学講座、みんなの自習室などを行いました。 生涯学習機関紙「be→!」や「パンビオここから通信」発行、ホームページでのイベント情報の掲載など、さまざまな方法で情報発信を行いました。 					冬休み親子企画「ピカソ模写の会」 			

施策の「5年後の目標」に対する評価 平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 貸室利用率は、前年度と比較して上昇し、年度目標を達成しました。 利用人数についても、前年度より2,128人上回り、200,413人となりました。 	202
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 目標の利用率は超えているものの、食工房など一部の部屋については利用率が低い状態が続いています。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数の拡大と生涯学習活動の機会創出を目的として、指定管理者や団体交流室等と引き続き連携し、さまざまな事業の実施や積極的な情報発信、中央生涯学習センターの学習環境の維持・向上に向けた取り組みを行います。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 69
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につなげている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	図書館サービスの推進・充実		会計	款	項	目	28,158,950	図書館
			一般	10	4	3		
事業の概要								
<p>市民の教養と文化の発展のため、全ての住民の読書を通じた生涯学習の中核施設である図書館資料を充実するため、図書の計画的な入れ替えを図って行きます。特に読書意欲の醸成を行うには幼少期から図書に親しむことが大切であることから、「えほんのひろば」「子どもの広場」等幼少期から本に親しむ事業を展開しながら、特徴の一つである児童書の充実を図って行きます。</p> <p>また、市民に利便性の高い図書館サービスの充実を図っていくため、開館時間の延長・ブックポストの増設・図書館に来ることができない高齢者・障がい者に対しての図書の宅配サービス等を図書館の運営形態の在り方をも含め検討を行います。</p>								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	図書館図書貸出冊数				単位	冊
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	410,400 (平成26年度)	目標	426,000	432,000	438,000	444,000	450,000
		実績	422,928	429,450	425,030		
<p>・読書啓発活動の行事として、定期的(月1回)に「えほんのひろば」「子どもの広場」「おはなしとブックトーク」「子どもの本を読む会」を開催しています。</p> <p>・さらに、単発開催行事として「身近な科学あそび」「読書講演会」「戦争と平和展」「子ども読書の日・おはなし会」「えいごであそぼ」、「ぬいぐるみのお泊り会」などを開催しています。</p> <p>・図書館利用困難者への対応として、ボランティアによる視覚障がい者の対面朗読を実施しており、新たに図書の宅配・回収(アウトリーチサービス)を開始しました。</p> <p>・「長岡京市立図書館のめざす将来像を考えるワークショップ」を開催し、これからの時代に求められる図書館はどうあるべきか、広く市民から意見を聴取しました。</p>					おはなしとブックトーク		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価							
平成30年度の達成状況							
C (評価)	評価指標	関連する評価指標			評価指標の傾向・トレンド	対応員	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・来館者の読書意欲を満たすと思われる情報を調査し、蔵書を的確に整備した結果、目標まで達成していませんが、期待に近い効果がありました。</p> <p>・図書館事業で、読み聞かせの本の選び方や語り方を学ぶ「読み聞かせボランティア養成講座及び実技講座」を実施し、次世代の担い手育成に取り組みました。</p> <p>・子育て世代からシニア世代まで受講され、読書意欲及び読書習慣の醸成及び市民への啓発活動に効果を上げています。</p>			—
	課題等	<p>・今後は、限りある財源の中での的確に対応できる図書館機能とサービスの充実に向けた取り組みが必要となっています。</p>				—	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
方向性 2: 進め方の改善の検討が必要	<p>・総合計画、図書館サービス計画等各種計画とワークショップ等で検討した「図書館のめざす姿」の整合から具体化できる計画の見直しを図り、順次推進して行きます。</p>